

# 一般質問事項（令和6年第5回遠賀町議会6月定例会）

◆令和6年6月10日（月）、11日（火）

◇6月10日（月）

（通告順1）質問者 松尾 啓太 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	災害時連携・応援協定について	(1) 協定を結ぶ事業者の選定基準について尋ねる。 (2) 新規で協議している事業者はあるか尋ねる。 (3) 現在の協定事業者で十分だと考えているか尋ねる。 (4) 地域に根差した多種多様な事業者で構成されている商工会と連携を図り、協定を結ぶ考えはないか尋ねる。	町 長 町 長 町 長 町 長

（通告順2）質問者 野口 久美子 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	遠賀町アピランスケア推進事業について	(1) 具体的に外見変化の補整のための用具とは、どのようなもので、購入費用の助成額はいくらなのか尋ねる。 (2) 令和5年度の申請件数と交付実績について尋ねる。 (3) 本事業の周知方法について尋ねる。 (4) がん患者の支援を行う拠点病院は何箇所あるか尋ねる。 (5) 本事業については、まだまだ周知不足と考えるが、今後の周知方法について改善する考えはないか尋ねる。	町 長 町 長 町 長 町 長 町 長
2	町立図書館への持ち込み学習について	(1) 開館年度の住民の目標登録率と令和5年度の目標登録率について尋ねる。 (2) 年間入館者数は、令和4年度76,619人、令和5年度76,970人となっている。令和6年度の目標入館者数は何人を想定しているか尋ねる。 (3) 遠賀町立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第5条第1項第6号では、持ち込み学習はしないことと規定されている。その意図について尋ねる。	教育長 教育長 教育長

		(4) 現在、町立図書館は、図書館専門の企業である指定管理者に当初予算約 5,500 万円で委託している。全国的なスケールメリットを生かして様々なイベントを計画し、図書館での居場所づくり、交流の場としてリピーターへ働きかけている。より利用しやすい施設とするため、持ち込み学習が出来るように規則を改正する考えはないか尋ねる。	教育長
--	--	---	-----

(通告順3) 質問者 松本 登 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	各地区公民館の各種災害に対して、避難所としての対応機能と他地区住民への活用方策及び公民館建設時の補助金について	<p>(1) 地区公民館は各種災害時の指定緊急避難場所になっている。災害ごとの避難先について町民・区民への周知はどのように徹底しているのか尋ねる。</p> <p>(2) 各地区公民館への避難案内で、災害時の指定緊急避難場所として目立つよう案内看板が掲示されている。しかし、地震による津波の指定緊急避難場所にはなっているが地震の指定緊急避難場所の表示がない。地域防災計画には地区公民館も地震の指定緊急避難場所になっているが案内板に地震を表記していない理由を尋ねる。</p> <p>(3) 案内看板に各地区公民館の海拔が表記されている。洪水時海拔で 7.5 メートル以上の公民館が洪水の指定緊急避難場所の対象となっている。洪水時の浸水水位は何メートルで計算したのか尋ねる。また、この数字はハザードマップに掲載する考えがないか尋ねる。</p> <p>(4) 地域防災計画で洪水時に対象とされている指定緊急避難場所のうち、高台にある 7 地区公民館は水没の危険性は少ない。洪水非常時には 7 地区公民館も町の避難所として活用する考えはないかを尋ねる。</p> <p>(5) 地域防災計画では、想定収容人数は 3.3 m<sup>2</sup> に 1 人で計算されているが、もう少しゆとりが必要と思うが再検討する考えはないか尋ねる。</p> <p>(6) 地区公民館は避難所としての機能強化が求められるが、地区公民館整備に対する補助金は、防衛省の補助金が 2/3 と残る 1/3 に対する町地区公民館施設補助金が 1/2 の併せて 5/6 補助となるのが 6 公民館、町地区公民館施設補助金 1/2 補助のみが 18 公民館となっている。何故補助率が違うのか尋ねる。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町長・教育長</p>
2	遠賀総合運動公園野球場の屋外トイレについて	(1) バックネット裏のトイレが使用禁止の看板が設置されて久しい。町内外からの利用者も多いなか早急に解体すべきと思うが、解体しない理由を尋ねる。	教育長

◇6月11日（火）

（通告順4）質問者 萩尾 修身 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	自治体におけるカスタマーハラスメントや悪質なクレームについて	<p>(1) 役場の窓口で、カスタマーハラスメントや悪質なクレームを受けているか現状を尋ねる。</p> <p>(2) 町民と直に接する職員に対して研修はどのようなことを行っているか。また、効果は表れているか尋ねる。</p> <p>(3) カスタマーハラスメントに該当するたくさんの例の中に、対応状況や職員の氏名等をSNSや動画共有サイトへの投稿がある。これについての町の対応を尋ねる。</p> <p>(4) 理不尽なクレームに対しては、断固とした態度をとるべきと考えるが町長の考えを尋ねる。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
2	子どもを性暴力から守る対策について	<p>(1) 学校、学童保育、幼稚園、保育園等における性暴力について、本町の現状を尋ねる。</p> <p>(2) 子どもに対する性暴力防止教育の一環として、教員による性暴力防止法についての研修などを実施しているか尋ねる。</p> <p>(3) 性犯罪の85パーセントが初犯者だが、学校現場ではどのような対策を行っているか尋ねる。</p> <p>(4) 学校での性被害について、子どもが打ち明けられない場合も想定されるが、教員と管理職、家庭との連携はどのように行っているか尋ねる。</p>	<p>町長・教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
3	20代から30代までの若手教員の育成について	<p>(1) 若手教員の退職者及び休職者について本町の現状を尋ねる。</p> <p>(2) 新卒教員のクラス担任について配慮はしているか尋ねる。</p> <p>(3) 新卒教員の指導力不足や負担をカバーする支援策として、教員メンターがあるが導入しているか尋ねる。</p> <p>(4) 文科省の若手教員支援策として、小学校の教科担任制を3、4年生に広げる考えがあるが、教育長の考えを尋ねる。</p> <p>(5) デジタル化を進めることで業務削減と若手を支える環境整備を急いでほしいと現場の教師からの声が新聞報道にあるが、チャットGPTなどのAIの活用について教育長の考えを尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

(通告順5) 質問者 田代 順二 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	新型コロナウイルスのワクチン接種について	(1) 定期接種（65歳以上と60歳から64歳の重症化リスクが高い人）の自己負担額について町として補助する考えはないか尋ねる。	町長
2	子ども医療費助成制度について	(1) 本町の子どもの医療費は、中学生までは無料であるが、高校生（18歳まで）は、外来では一部自己負担額が医療機関ごとに1600円発生する。入院では1日当たり500円が月7日限度で発生する。岡垣町が10月より、小学生から18歳までの外来の一部自己負担額を1200円から500円に引き下げる。入院はすでに無料となっている。高校生（18歳まで）の一部負担額を引き下げる考えはないか尋ねる。	町長
3	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の取扱いについて	(1) 内閣府によると、2023年度補正予算で措置された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の3割にあたる1447億円が活用されず、2024年度に繰り越されていることが明らかとなっている。県下60自治体のうち、52自治体に交付残がある。本町には交付残はあるのか。ある場合、実施計画の現状を尋ねる。	町長
4	ライフライン施設等の整備について	(1) 地域防災計画では、水道施設は「貯水池等の施設の耐震化を推進するように、中間市上下水道局に働きかける」、下水道施設は「浸水災害等の被害を防止するため、雨水、下水の迅速な排除が行えるよう施設の整備増強を図る」、「幹線下水道施設の設計及び施工については、耐震性の確保に努める」とあるが、耐水性、耐震性について現状はどうか尋ねる。	町長
5	学校教育について	(1) 文部科学省の生徒指導提要（令和4年12月）には、校則の見直しとして、「校則を制定してから一定の期間が経過し、学校や地域の状況、社会の変化等を踏まえて、その意義を適切に説明できないような校則については、改めて学校の教育目的に照らして適切な内容か、現状に合う内容に変更する必要があるか、また、本当に必要なものか、絶えず見直しを行うことが求められます」とある。これらについて、本町の現状とこれからの取組についてどう考えているかを尋ねる。	教育長